

# 社会資本総合整備計画

長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生

事後評価書

令和4年1月

長野県長野市

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（令和元年度）（5年間）	交付対象	長野県長野市
計画の目標			

長野駅の東口周辺に位置する当地区は、立地する条件の良さから、経済成長と共に無秩序な市街化が急速に進んだ地域であり、駅前広場や道路・公園等の公共施設整備の遅れ、密集木造住宅の存在など、生活環境の低下や防災上において支障を来している。  
 このため、土地区画整理事業により、都市型利便性を生かした居住環境の整備や都市防災対策の向上、更には市の玄関口にふさわしい交通結節点機能の強化を図るなど、多様な機能を持ち併せたまちづくりを促進し、安全・安心で快適な中心市街地の再生を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野駅を交通結節点として利用するバスの台数を2,582台/月（H26）から2,750台/月（H31）に増加。</li> <li>・長野駅周辺第二土地区画整理区域内の公共用地率を30.84%（H26）から39.29%（H31）に増加。</li> </ul>		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31(R1)末)	
① 長野駅を交通結節点として利用するバスの台数の増加 バス待機場利用台数を活用	2,582台/月	2,650台/月	2,750台/月	
② 防災機能の向上を図るオープンスペースの増加率 区域内における公共用地率=公共用地面積/施行区域面積	30.84%	35.07%	39.29%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	4,141.5百万円	A	4,141.5百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	---------------	------------	---	------------	---	------	---	------	-----------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	令和4年1月
長野市都市整備部市街地整備局内において事後評価を実施	公表の方法
	長野市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31(R1)		
A-1	道路	一般	長野市	直接	長野市	市道	改築	長野駅周辺第二地区	区画整理 58.2ha	長野市						4,141.5	
小計（基幹事業）											4,141.5						
合計											4,141.5						

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31(R1)			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31(R1)			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

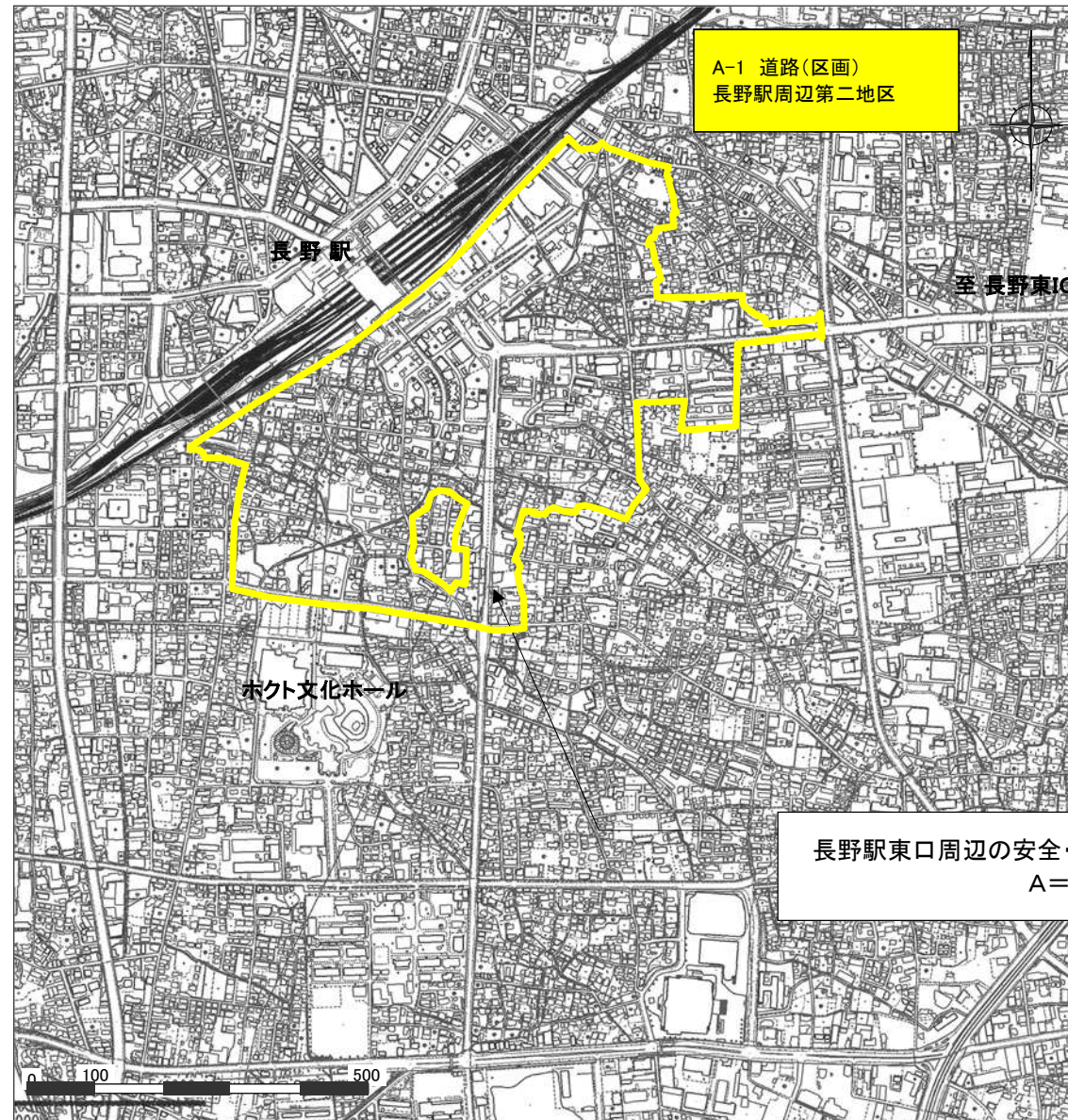
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業区域内のすべての都市計画道路が完成し、公共施設整備の完了により、長野駅東口から須坂長野東インターチェンジをはじめ、主要な道路や施設、観光地等へのアクセスが向上し、経済や観光面などへのストック効果が期待される。この効果により、県都長野市の玄関口として、交通結節点機能の強化が図られたと評価する。</li> <li>・都市防災機能の強化として、すべての都市計画道路の歩道内に電線共同溝を整備し、無電柱化を実施したことにより、有事の際の緊急輸送路の機能を強化すると共に、良好な景観にも寄与した。</li> <li>・事業区域内には、医療・福祉・商業・介護・教育・文化などの日常生活を支える施設が集積し、暮らしやすく、利便性の高いコンパクトな都市が形成されてきている。</li> </ul>														
II 定量的指標の達成状況	指標①(長野駅を交通結節点として利用するバスの台数の増加)	最終目標値	2,750台/月	目標値と実績値に差が出た要因	都市計画道路の整備により、長野駅を中心とした環状・放射状の道路網が完成し、交通の安全性・利便性とアクセスの向上が図られ、慢性的な渋滞が解消された。長野駅を拠点とした交通結節点機能が強化されたことにより、観光バス、貸切バス、送迎バスによるユメリアバスパークの利用が増え、バスの利用台数は、目標値を上回った。											
		最終実績値	3,765台/月 (H31(R1)末)													
	指標②(土地区画整理区域内における公共用地率の増加)	最終目標値	39.29%	目標値と実績値に差が出た要因												
		最終実績値	39.29% (H31(R1)末)													
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因												
		最終実績値														
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備された都市計画道路沿いには、マンションの建設や生活に密着した店舗等の日常生活に不可欠な身近な施設の進出が確認され、交通の便の良さと相まって良好な生活環境が発現している。</li> <li>・長野駅近傍では、土地区画整理事業の進捗と共に組織された地元商店街協同組合が活動を継続しているほか、看護大学の開校やマンション・ビジネスホテルの建設など、土地の高度利用が図られ、中心市街地としての機能が整ってきている。</li> <li>・都市計画道路の歩道内に電線共同溝を整備し、無電柱化を実施している。災害時の緊急輸送路と歩行者の避難空間を確保すると共に、日常では良好な景観を形成することにより、安全・安心で快適なまちへの再生を図っている。</li> </ul>														

3. 特記事項(今後の方針等)

- 土地区画整理事業の早期完了  
公共施設整備が完了し、すべての土地の面積を確定する出来形確認測量を行い、その成果に基づき事業計画の変更を行った。今後は、令和4年7月に予定している換地処分に向けて業務を進め、土地区画整理事業の早期完了を図る。
- コンパクトシティの推進  
長野駅の東口周辺では、医療、商業、教育、文化施設の立地が進み、土地の高度利用も図られている。事業区域内には、生活に必要な商店や病院、金融機関など様々な施設が集積し、これら施設がすべて徒歩圏内にあり、誰もが歩いて暮らせるまちづくりに繋がっている。一方、区域内には時間貸し駐車場も見受けられるが、今後の換地処分により、高度な土地利用への転換が期待できる。




(参考様式3)

計画の名称	長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (令和元年度) (5年間)	交付対象	長野県長野市



A-1 道路(区画)  
長野駅周辺第二地区

長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生  
A=58.2 ha

凡例	
	基幹事業
	関連社会資本整備事業
	効果促進事業